

当日指導案

日時 令和2年2月6日(木)

場所 松江市立第一中学校 1年9組教室

指導者 神白由里子 (T1)

福田美由紀 (T2)

6 本時の学習

(1) 本時のねらい

○相手を意識し、質問に答える、相づちを打つ、コメントを加えるなどしながら生き生きと話し合う。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(2) 本時の展開

学 習 活 動	教師の支援		評価と方法
	T 1	T 2	
<p>○あいさつ</p> <p>○本時のめあてを確認する。 「Let's have “生き生き” talking!」</p> <p>○Warm-up ・ Small talk をする。</p> <p>○Quiz (7 Questions) (1) 教師のクイズに答える。 (2) 教科書本文後半(part3)についての質問に答える。(ペア→全体) (3) 咲の”What a surprise!”を言い換えるとどんな気持ちか考える。(ペア→全体)</p> <p>○日本の文化・伝統について話し合う。 (1) ペアを作り活動する。 (2) 活動を振り返り、“生き生き” talk のための次のポイントを確認する。 ・ 相づちをうったか。 ・ コメントを言ったか。 ・ 質問に答えたか。 ・ 難しい部分を繰り返したり、分かりやすく言い直したりしたか。 ・ 聞き手も相づちや質問、コメントなどを加える。 ・ アドリブで質問したか。 (3) 振り返りを生かし、他の生徒と活動を行う。</p> <p>○本時の学習を振り返る。 ・ 振り返りシートに記入する。</p>	<p>・ 黒板に掲示する。</p> <p>・ 例を見せ、聞き手は相づちを打ったり、感想を加えたりすることを伝える。(全体→個別)</p> <p>・ 日本の文化や伝統についてのクイズを出題し、本文の内容につなげる。</p> <p>・ 英語で話し合うことができる問題については、“No Japanese”の指示を出す。</p> <p>・ 例を見せ、聞き手は相づちや感想を加えることを伝える。</p> <p>・ 活動を観察し、良い点をその場で具体的に評価する。 ・ スムーズにペアになるよう支援する。</p> <p>・ 次回の活動内容を告げる。</p> <p>・ 本時の活動について評価し、今後の意欲につなげる。</p>	<p>(全体→個別)</p> <p>(全体→個別)</p>	<p>活動の観察</p>

(3) 本時の具体的な評価

十分満足できると判断される生徒の様子 の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の様子 の具体例	支援が必要な生徒への手立て
<ul style="list-style-type: none">・ 質問を加える。・ 質問に答える。・ コメントを言う・ 難しいところを繰り返す・ 相づちを打つ。 など、用意された内容をベースにし、それを広げながら対話を展開している。	<ul style="list-style-type: none">・ 質問に答える。・ コメントを言う。・ 相づちを打つ。 などを加えながら、用意された内容に沿って対話している。	<ul style="list-style-type: none">・ 難しい場合は原稿を見ながら説明しても良いことを告げる。・ 教師がペアになり、評価やアドバイスをを行う。